錦梨と剣豪の里。

――球磨郡錦町

球磨盆地のほぼ中央に位置する錦町は、日本三大急流の一つ、球磨川が東西に貫流し、おいしい米がとれる農業の町です。

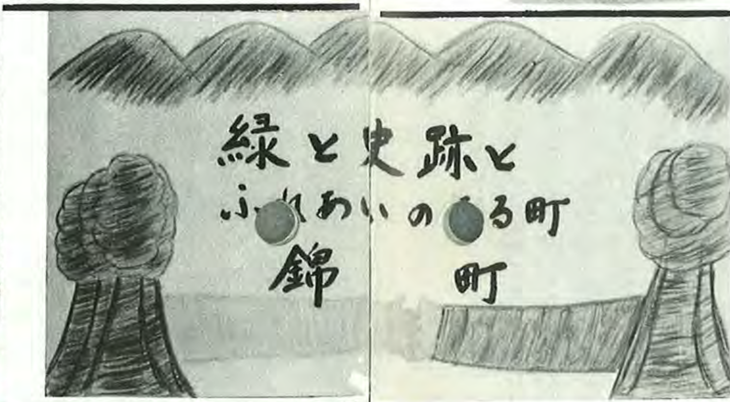
米のほか、特産物として全国で産地賞に輝いた木上（きのえ）茶、木上スイカや錦梨、モモ、メロンなどが全国的に有名です。

誘致企業として、IC関連の熊本日本電気や、男子雇用型で二輪車部品製造の九州武蔵精密工業などが進出し、順調に発展してきました。また、日本選手権も行われた郡内唯一のゴルフ場・球磨カントリークラブもあり、これらは、活力ある町づくりの一端を担っています。

文化財も数多く、桑原家住宅（国指定重要文化財）、ユニークな話が伝わるババウッチャギナシ（梨の木・県指定天然記念物）や、剣聖・丸目蔵人の遺品や墓などがあります。

一度訪ねてみませんか。お問い合わせは錦町教育委員会（☎〇九六六三―八―一六一四）へどうぞ。

この新聞を制作した
錦町立一武小学校6年2組のみなさん


緑と史跡と
ふれあいのある町
錦町

豊かな農産物

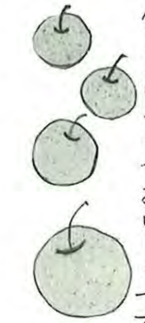
錦町の産業中心は、なんといっても農業だ。その中でもメロン・ナシ・スイカ・たばこ・茶などはクラスの家でも作っているので、その人に聞いてみた。

甘さ日本一!!

うちのメロンは主に九州内で食べられている。味はなんたって天下一品。種類もいくつかあるけど、中でもアンデスメロンはすばらしい。味はとってもいいし、香りがなんともいえない。甘みも十分。おいしい錦のメロンをどうぞ!!（メロンの木野さんの話）

味は日本一!!（ナシの立作君）

ぼくの家では、なしを作っている。とれた物は、県内から、福岡・鹿児島・沖縄・関東地方・フィリピンなどに送られている。一番大きいのになると15cmぐらいのものもある。味は大きいほどおいしく水分が多く、あまくておいしいです。



品質日本一!!（タバコの坂口君）

この町では、タバコがたくさん作られている。一月の終りごろに種まきをして、とり入れは七月の中ごろにおこない、かんそうをして、九月に専売公社に送られる。この町のたばこは品質がよく、昨年度のたばこ日本一はこの町から出ているとお父さんたちも、喜んでいる。

農産物ではないが、焼酎も有名だ。今焼酎ブームで、このクラスのお父さんも晩酌はほとんど焼酎だ。焼酎は米で作られており、遠くは本州方面まで送られている。とにかく飲みごこちがよく酔いざめさわやかで、甘みがあるが、それが特長のようだ。百三七〇〇本を生産しているが需要に追いつかないという。

お茶

球磨のお茶は昔から有名だ。五月の新緑の茶園はみごとである。せん茶というものや玉緑茶もある。どれも味はさいこうである。送り物などにいい。もちろんうちでも毎日球磨茶です。

スイカ

スイカはメロンとだいたい同じだそうだ。送る所は東京や大阪・名古屋などの大都市に送っている。どこでもめずらしいし、味もなかなかなので喜ばれている。味は香りではわからないが、食べてみると抜群だ。夏など冷やしてあなたもいかが!!

四月からおせわになる中学校 錦中学校の自慢

錦中の先生方に錦中の自慢を聞いてみました

こんど、私たちが行く中学校は、球磨 人吉で一・二位の広さをほこり、よく整備されたグランドがあります。部活動もとてもさかんで、いろんなクラブが県や九州大会にでてりっぱな成績をおさめています。校則をやぶる生徒も少なく、あいさつのよくできるすばらしい中学校です。

故郷（ふるさとまつり）祭り

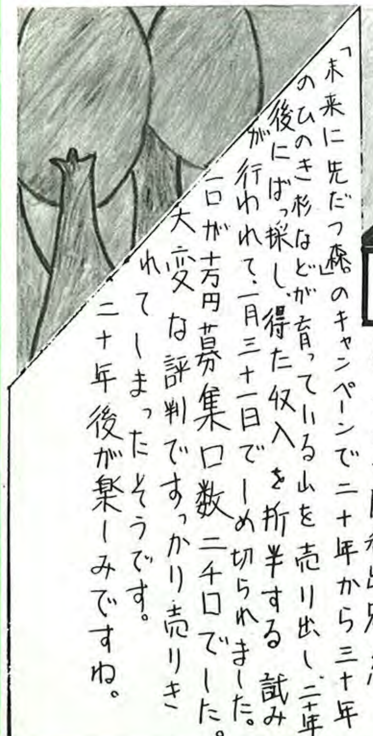
この祭りは昭和五十三年に始まった。朝から、夕方までどんちゃんさわぎ。歌手が歌ったり、肥後にわかがあったり、鼓笛をしたり相撲があります。昼はおにぎりとつけものを食べ放題。お店もいっぱいある。祭りは一日だけだが、知らない人も、知っている人もニコニコ。おもしろいことがたくさん。楽しいですよ。

錦町のあれこれ

(兄妹そろって挑戦)

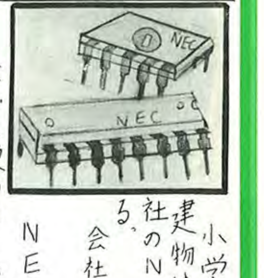
カヌーの兄妹選手(高校生)が世界に挑戦。八月十八日から、ポーランドのビドゴシュチで開かれたカヌージュニア選手権に和泉博幸、啓子さん兄妹選手が、出場、大活躍。兄妹で選ばれるのは、始めてのこと。

練習は厳しく凍てつく球磨川で猛練習をしている。



「未来に先だつ森」のキャンペーンで二十年から三十年のひのき杉などが育っている山を売り出し、二十年後にばっ採し、得た収入を折半する試みが行われて、一月三十一日でしめ切られました。一口が十万円、募集口数二千口でした。大変な評判ですっかり売りきれてしまったそうです。二十年後が楽しみですね。

熊本日本電気株式会社 NEC



小学校のななめ前にある赤茶色の建物は、九州日本電気株式会社の子会社のNEC熊本日本電気株式会社である。

会社の方にいろいろ聞いて見ました

NECではコンピューター パソコンなどに使われているLSIの組立や検査をおこなっている。この会社では、最新設備を使って品質のよいLSIをできるだけたくさん作ることにより会社の発展に役立てている。又、この町に工場ができたのは、LSIを作るのに必要なきれいな水と空気と人の全部がそろっているからです。

IC、LSIは、これからの生活を便利にしていくために、一番必要とされているものです。たとえば、私たちの家にある電卓や時計やゲームにも使われているそうです。NECではこれからも研究開発を続けて、高性能のLSIを1個でも多く作るために頑張っていくそうです。

この工場には地元の人もたくさん働いており、NECといえば知らない人はいないくらいです。

今後ともよろしくお願いします。

九州武蔵精密株式会社

この町にもどんどん工場ができている。その中でも本校から見て、真南の方角に、広いしき地と、大きな工場を持つ九州武蔵精密株式会社がある。この会社では、歯車を作ることにかんしては、品質、生産量、値段は、全国のどの会社にも負けない。

将来は、自動車の部品を作っていき、そして世界じゅうに九州武蔵の作った部品が使われる様になるでしょう。その確率百パーセントと会社の人は自信満々。

私たちの学校 一武小

私たちの学校は、この町の中央にあり近代的な、とても広い運動場があります。また、今、郡で一番という、体育館を建設中です。児童は、370名の小さな学校ですが、自慢はたくさんあります。そのことについて、校長先生は、「いろいろありますが、なんといっても健康、そのために一人一人が、毎朝走ったり、縄とびを続けていることです。強い体力が、校内生活の土台になることを知って、がんばっています。このことが、部活動にも現れて、陸上ソフト、マラソン大会などで好成績をあげています。」と話して下さいました。児童会でも、ちり拾い運動や、あいさつ運動などをとりあげ、みんなで努力をしています。

史跡

錦町にはいろいろな史跡があるがその中でこの三つを見学した。

(剣聖丸目蔵人の墓)

南西の方向にひっそりと一つの墓がある。それが丸目蔵人の墓だ。

蔵人は足利将軍時代の剣の達人で四天王の一人として活躍した。

「強かったんですね。スゴイ!」

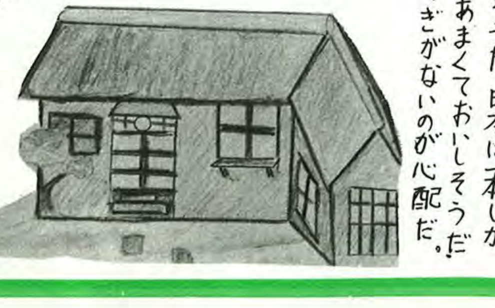
(日本に一本しかないババウッチャギナシ)

南東の山あいにある渋谷さん宅には、県指定天然記念物のババウッチャギナシがある。果実が固く落果してろうばを打ちひしぐということからこの名がついたそうだ。日本に一本しかなく実はあまくておいしそうだがあとつぎがないのが心配だ。

(桑原さん宅)

江戸時代同地方の重要な建ちくようしきを残している。この家はL字形になっていて県の県指定重要文化財に指定されている。他にも有名な史跡がある。京ケ峰の横穴古墳、また三つの前方後円式の古墳が昔の形をとどめている。

ー◇ー◇ー◇ー◇ー◇ー

史跡ではないけれど学校から三〇分ほど東に行くと大平渓谷といって夏でもつめたい水がながれ、ラムネ水がわき出、夏はおとずれる人が多い。